図書通信 11月号 冬への架け橋

作者：辻村深月

『かがみの孤城』は、学校に行けない悩みを抱える中学生たちが鏡を通して不思議な城に集められ、そこで過ごす日々を通して成長していく物語です。城には「願いが叶う鍵を見つければ、どんな願いも叶う」というルールがあり、彼らは次第に自分の抱える心の痛みや葛藤を少しずつ打ち明け、互いに支え合うようになります。友情と孤独が描かれた、ファンタジー要素とリアリティの融合が魅力で、ミステリーも絡む展開が心に響く感動作です。

1301 赤松賢伸

作者：汐見夏衛

『さよならごはんを今夜も君と』は、体型や家庭に悩む女子高生や食事に悩む人たちが、夜食専門店の店長と交流する、心がほっこりするお話です。店長の優しさに助けられていくストーリーで温かい気持ちになれます！
食欲の秋とも言われるこの季節にぜひ読んでみてください！！

1309 大石咲菜

作者：美奈川護

『 星降プラネタリウム』は、星が綺麗に見える故郷を離れ、都心のプラネタリウム施設で働くことになってしまう主人公が、同僚や仲間たちと共に成長していく物語です。これからの季節は夜が長くなり、星空が見えることも多くなると思います。そんな景色が好きな人にぜひ読んでもらいたいです。ラストシーンでは、脳裏に星空の情景が浮かび上がってしまいます!!

1410 大橋暖

作者：いぬじゅん

『その冬、君を許すために』という本は、ある二人の恋愛模様を描いた作品です。驚きのどんでん返しの後、温かい涙が頬を伝う、この冬最高の許しと愛の物語です。ぜひ手に取ってみてください。

1418 白木間弦

11月の注目の新聞記事

物価上昇に対する政府の対応

政府は消費者物価指数の上昇に伴い、国民生活への負担軽減を目的とした新たな経済対策を検討している。具体的には、生活必需品の価格抑制や低所得者層への補助金支給など、物価上昇の影響を和らげるための財政支援策が中心に検討されている。また、地方自治体と連携し、地域特有のニーズに応じた支援も検討されており、社会的に幅広い層を支援するための施策が求められている。

11月1日　朝日新聞より